



報道関係各位

2016年4月14日

## 2016年ジュニア・サミット in 三重に 世界大会で準優勝した工学院大学のソーラーカーが登場

工学院大学(学長:佐藤光史、所在地:東京都新宿区/八王子市)のソーラーカープロジェクトが製作し、2015年にオーストラリアで開催された世界最大級のソーラーカーレースでクラス準優勝を果たした3号機 [OWL (あうる)] が、「2016年ジュニア・サミット in 三重」(関連公式行事開催期間:4月22~28日/主催:外務省)に登場します。

今回展示されるソーラーカー[OWL]は、多くの企業・団体のサポートを受け、日本の先端技術を結集し“Made in 工学院大学、Designed by 工学院大学”を合い言葉に学生たちの手で創りあげた車両です。2015年に開催された「ブリヂストン・ワールドソーラーチャレンジ2015」(開催期間:2015年10月18~25日)のクルーザークラスに参戦し、準優勝を収めています。



### ■サポート企業のNTNブースに展示

プロジェクトにベアリングを提供するNTN株式会社(代表取締役社長:大久保博司、本社:大阪府大阪市)は、サミットの主会場となる三重県桑名市で創業し、また、同市に位置する先端技術研究所が討議に資する視察先に選定されております。そのことを受け、エキシビジョン企画への参加が実現しました。

### 《2016年ジュニア・サミット in 三重 概要》

- ・開催期間:2016年4月22日(金)~28日(木)(予定)
- ・開催場所:三重県桑名市を主会場とし、三重県各地及び東京を訪問
- ・参加者:G7各国から選出された15~18才の男女各2名

<取材等に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課 担当:関根・堀口  
TEL:03-3340-1498 / e-mail:gakuen\_koho@sc.kogakuin.ac.jp